

よしかわ 自民・みらい

よしかわ「自民・みらい」議員団報 第21号

発行 行 よしかわ「自民・みらい」議員団
発行責任者 中嶋 通治
連絡先 <http://ameblo.jp/jimin-mirai/>



9月定例会 平成27年度決算認定

歳入 229億1,486万7千円
歳出 222億9,238万2千円

平成27年度の決算額について、歳入総額は229億1,486万7千円で、歳出総額は222億9,238万2千円となり、歳入歳出差引残高は6億2,248万5千円となりました。歳入につきましては、前年度に比べ、30億7,689万4千円増となり、歳出につきましては、前年度に比べ31億1,356万3千円の増となっております。

『市民の会・無所属』所属 稀垣茂行議員 懲罰特別委員会が設置され陳謝の『懲罰』が決定!!

『市民の会・無所属』所属の稀垣茂行議員の市政に対する一般質問の「公金紛失」の再質問発言中、警察へ被害届を提出し、捜査中にもかかわらず、あたかも特定できるような発言をしました。議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に顧みて発言が不適切であるのみならず、人権問題・いじめの温床にもなりかねない軽率で配慮を欠いた発言に対して、我が会派の中嶋団長より懲罰動議が提出されました。

全会派一致で直ちに懲罰特別委員会が設置され、出席停止3名、陳謝3名の同数により、『市民の会・無所属』の降旗委員長の委員長裁決にて陳謝の懲罰が決定されました。また、本会議中の採択においても、『市民の会・無所属』に所属の議員も含め、全員一致で賛成しております。この事実にも関わらず、『市民の会・無所属』伊藤議員・稀垣議員の『9月議会活動報告』の中に、“市民の会・無所属は懲罰には当たらないとの認識で一致した”との記載があります。しかし、本会議場、懲罰特別委員会設置に関して、異議は一切唱えられないことなく、全会派一致で設置への運びとなりました。そして、懲罰特別委員会で決定された陳謝の懲罰の決定に関しても、本会議場、『市民の会・無所属』も含め、全会派一致で賛成しております。従って、この記述は全くの虚偽記載であります。そして、編集後記の記事においても、稀垣議員は“事実の確認や検証もせず、お詫びをさせるやり方”と記載があります。この事実の確認とは何を言っているのでしょうか。発言内容の事実は録音音声テープ起こしされ、懲罰特別委員会において確認され検証もされております。今回は弁明の機会も与えられましたが、懲罰に掛けられ残念だという発言に対して反省が一切見受けられません。特に(いながき記)の中に、“職員には「人権」はないのでしょうか”と記載していますが、議員本人に人権問題を考える姿勢は見受けられません。

稀垣茂行議員による軽率な行動は今回のみならず、過去にも東日本大震災から1年後の建設生活常任委員会の休憩中に亡くなられた方々に黙祷を行った直後に女性職員に対し、体を触るセクハラ問題を起こし、議場にて謝罪をしました。しかし、自らの広報紙には、今回同様、議場にて読み上げた謝罪の文章とは異なる内容に書き換え、弁明ならぬ言い訳と反省のない言葉で市民に対し虚偽の報告をしました。この虚偽記載に関しても、当時の市民改革クラブに記事の訂正と反省を求める決議が賛成多数で可決されました。しかし、未だその訂正もされておられません。全く反省せず、お詫び文は本心からではなく、その場を切り抜けるだけのものということです。

今回の問題は、教育や人権に関わる文教福祉常任委員会委員長という重責を担う立場でありながらのこのような人権侵害にも繋がりをうる発言をしたことに対し、道義的責任を取り、責任の重さを感じ自ら職を辞するような自浄的な態度を示すべきではないでしょうか。

また、見出し文には大きな文字で、“どうして質問権まで取り上げられるの”との記載がありますが、記事の中では稀垣議員が自らの言葉で質問を「中止」しましたとあります。これは明らかに見出し文と記事の内容が異なり、事実は稀垣議員自らが発言を取り下げたものであります。見出しによる悪質な印象操作の感は否めません。

※懲罰は、地方自治法第135条第1項によって、1)戒告、2)陳謝、3)出席停止、4)除名の4種類に法定されています。

新庁舎建設工事請負契約の締結について、3議案の追加議案提出される。

工期につきましては、契約締結日から平成30年3月20日までとなっております。

建築工事部門

北野建設株式会社 埼玉営業所
請負金額:2,256,120,000円

電気設備工事部門

株式会社沼尻電気工事
請負金額:466,344,000円

機械設備工事部門

株式会社アベックエンジニアリング 川口営業所
請負金額:631,617,480円



新庁舎イメージ

9月定例会 中嶋議員 加藤議員 吉川議員が一般質問をしました

中嶋通治議員 「カスミ」の閉店に伴う状況と対策、深井新田の道路整備について

- 質問** 「カスミ」が閉店するとのことであるが、その状況と対策は。
- 答弁** 情報収集に努めるとともに、近隣住民の利便性が図れる企業の誘致に努める。
- 質問** 高齢者が自由に買い物に行けなくなると、十分な食料品を購入できなくなり、毎日の食生活に栄養が偏り、健康に害を及ぼす。弱者の身になり考えてほしい。
- 答弁** 道路が完成すれば、場所の魅力が高まり、ネオポリスのみでなく、三輪野江の人も利用していたので常にアンテナをはって行く。
- 質問** 駅前に空き店舗ができてしまう状況は周辺が寂れ、市全体が衰退していくと思われるが、駅前における商業の在り方をどの様に考えているのか。
- 答弁** 市のイメージダウンにつながり、賑わい創出の為にも活性化が必要。今後商業の核として、あり方も含め支援策について協議する。
- 質問** 深井新田の道路整備について。
- 答弁** 整備の要望を受けている。道路後退に協力頂ければ、意向を確認し整備する。

加藤克明議員 吉川松伏医師会の質問書の市の対応と中川流域、新川橋以西の水害対策について

平成28年8月22日付、吉川松伏医師会から中原市長に対しての「質問書」が吉川市議会議員にも送付された。医師会からは意見と質問11項目、13の質問事項が最後に記載されている。文中には、今年3月の学校医、介護認定審査会委員の辞任に至るまでの経緯や、保健事業に対する医師会と吉川市の主張、認識の相違などが記されていた。

- 質問** 「質問書」の回答はいつまでにするのか。回答内容について医師会の同意を得たうえで、議会にも報告して頂きたい。
- 答弁** 9月末までに回答をと聞いている。引き延ばす必要性は全く無いので議会終了後、なるべく早く回答します。議会の皆様にも、見て頂くことは必要かなと思っています。
- 質問** なぜ学校医問題などが起きたのか、医師会の同意を得たうえで、「質問書」の回答を市民に周知すべきと考えますが如何か。
- 答弁** 公開方法は、具体的にまだ考えていない。私としては、今後クローズにする必要はないと思っている。当然、私たちからも見て頂くことは必要かなと思っています。
- 質問** 水害発生時の中川流域周辺住民、新川橋以西地域住民に対しての「避難対策」、高齢者などの「逃げ遅れしない対策」など、どのように考えているのか。
- 答弁** 過去の豪雨経験を踏まえ国土交通省関東整備局江戸川河川事務所の指導の下、「事前防災行動計画」策定。気象や河川の水位状況の変化に応じて、国交省と情報連携を行い、防災行政無線、広報車、ホームページ、登録メール、ツイッター、テレビ埼玉など情報媒体を活用し、迅速に段階に応じた指示、発令を行い、要配慮者や住民の方々が早めの行動をとれるよう情報伝達体制を整えております。避難行動に際しては、状況により対応が異なりますが、指定避難場所への「水平避難」が困難な場合には、自宅高層階へ避難する「垂直避難」が有効。住民自らが情報を収集し、適切な行動がとれるよう出前講座など啓発活動を実施していきます。高齢者などの「逃げ遅れしない対策」等については、ひとりで逃げることのできない方の避難は自主防災組織や地域の方の協力が必要。自主防災組織が未設置の自治会に対して引き続き自主防災組織の重要性や、設立に際する支援内容の説明を出前講座などにて行っていきます。道路や橋など交通が遮断された場合の避難先として、災害に対する協力応援を5市1町で結んでいる。そういう状況になった場合には、近隣の越谷市に避難所設置要請を行う事が可能となっており、近くでは増林地区センター、増林小学校などがあります。



吉川敏幸議員 吉川松伏医師会、関会野谷線歩道、吉川美南駅周辺地区都市区画整理事業について

- 質問** 市内のある医療機関から、市と契約する資格がないのは吉川松伏医師会である旨の手紙が届いた。医師会の協力無くして市の保健事業が成り立つのか。また、市長自らが医師会と話し合いを持ったのは何回になるか。
- 答弁** 【市長】大きな役割を担って頂いていると考えている。詳細は医師会からの質問書に回答するが、担当は話し合いをさせて頂いている。
- 質問** 関会野谷線歩道の根上がりにより歩行に支障をきたしている。第3次吉川市障がい者計画にも道路のバリアフリー化が謳われているので、早期補修を。
- 答弁** 【都市建設部長】順次補修を行っていく。
- 質問** 吉川美南駅周辺地区都市区画整理事業の中で、駅から繋がる並木道や公園を建設予定となっている。昨年度の公園維持管理事業費は約3億1,500万円となり、年々増加傾向にある。対平成25年度比では、約7,500万円増であり、率にして約30%の増加である。将来、人口が減少する中で、歳入の減少が見込まれる中、このような維持管理費はより一層負担感が出てくる。長期的な視野に立ち、費用抑制的な計画を。
- 答弁** 【都市建設部長】駅からの並木道300mほどは無電柱化と自転車レーンを設けることを計画している。景観等、総合的に考えていきたい。



中嶋通治
よしかわ自民みらい団長
建設生活委員
議会運営委員
東埼玉資源環境組合議会議員
昭和19年生まれ
3期目



松崎 誠
文教福祉委員
昭和32年生まれ
4期目



加藤克明
総務水道副委員長
議会運営委員
江戸川水防事務組合議会議員
昭和42年生まれ
2期目



吉川敏幸
総務水道委員
議会広報委員
吉川松伏消防組合議会議員
昭和53年生まれ
1期目